

# 経営フォーラム

参加料

会員は無料、

非会員は2,000円

(当日ご持参ください)

## ドラッカー・マネジメント論と社会経営学から旭川企業の繁栄を考える

旭川の人口は30年間で3割減少するとの推計があります。このような状況下、旭川の企業と地域が今後も繁栄するためには、企業と地域にある

経営資源を最大限活用する必要があります。今回、話題のビジネス書「もしマルクスがドラッカーを読んだら…」の著者を招き、企業と地域の経営資源を活用する

基本的な考え方としての正しい「ドラッカー・マネジメント論」と新しい経営の概念「社会経営学」をもとに、意見交換を通じて旭川の企業の繁栄を考えます。

開催日時：平成25年**10月11日(金)** 午後2:00～午後4:30 (受付開始は午後1:30～)

開催場所：道北経済センター 2階大ホール (旭川市常盤通1丁目)

参加対象者：中小企業経営者、経営幹部、後継者、経営指導者など

定員：100名 (定員になり次第締め切らせていただきます。)

お申込：下記の申込書に記入の上、10月8日(火)までに FAX または電話にてお申込みください。

## 1 基調講演：もし旭川の企業経営者がドラッカーを読んだら『地域と企業』をどうマネジメントするだろう

講演者 (フォーラムにも参加) のプロフィール



龍谷大学経営学部教授、龍谷大学京都産業学センター代表 **重本 直利 氏**

- ・社会経営学研究と提唱での世界の第一人者。最近の著書「もしマルクスがドラッカーを…」が内容の斬新さと読みやすさで大好評。「日本の企業はドラッカー・マネジメントを正しく取り入れていない」と力説。
- ・北海道大学理学部物理学科、立命館大学大学院経営学研究科博士課程単位取得を経て、現職。

【専攻】経営組織論、社会経営学

【著書】『もしマルクスがドラッカーを読んだら資本主義をどうマネジメントするだろう』(かもがわ出版)、『社会経営学研究—経済競争的経営から社会共生的経営へ』(編著、晃洋書房)、『社会経営学序説』(晃洋書房)、『意識と情報における管理』(こうち書房)、『関係性と経営』(共著・晃洋書房) など多数

## 2 フォーラム

パネリストのプロフィール



**三宅正伸 氏**

京都経済短期大学非常勤講師、佛教大学非常勤講師、NPO法人社会文化センター理事・事務局長ほか、肩書き多数

- ・公共経営の観点によるドラッカーの研究者。軽快な語り口が聴く耳を飽きさせないとの定評あり。大阪商業大学大学院博士後期課程単位取得。

【専攻】公共経営論

【著書】『ドラッカー学説と社会合理性』『行政経営と社会経営』『社会経営学研究』、『行政経営による関係性』『関係性と経営』(以上共著・晃洋書房) ほか



**瀧野喜市 氏**

株式会社北海道健誠社 代表取締役

- ・地元経営者代表。平成4年、旭川にてリネンサプライ・クリーニング業である当社を設立。障がい者の就労を支援する「NPO法人まこと」などグループ企業を率い、「社会貢献」と「利益追求」を両立。今回、その秘訣を初解説。
- ・障がい者を積極的に雇用し、道知事より北海道社会貢献賞、日刊工業新聞社より地域社会貢献者賞など受賞多数。マスコミも注目し、テレビ等にも出演。
- ・バイオマスボイラー、太陽光発電導入によるエネルギー戦力にも力を注ぐ。

コーディネーターのプロフィール

**杉村樹可 氏**



日本政策金融公庫旭川支店  
国民生活事業統轄、  
日本比較経営学会会員、  
社会経営学研究会会員、  
MBA (経営学修士)

【論文等】『新渡戸稲造のマネジメント—現代に生きる「武士道」—』、『Michael E. Porter 理論と社会経営学』(以上、「社会経営学研究」)、『地域における小規模企業の役割』、『NPO 法人と創業行動』(以上、日本比較経営学会) ほか

問合せ：旭川商工会議所産業支援部経営支援課  
TEL:22-8414 FAX:22-2600

### 経営フォーラム申込書

旭川商工会議所 産業支援部経営支援課 (FAX:22-2600) 行

平成25年 月 日

事業所名

電話

—

住所

FAX

—

受講者名

受講者名

※ ご記入いただいた情報は、旭川商工会議所からの各種連絡・情報提供のために利用させていただくほか、フォーラム参加者の実態調査・分析のために利用させていただくことがあります。